

政策提言

若年層をターゲットとした観光促進政策

経済文教常任委員会  
総務常任委員会

## 第四次佐野市観光推進基本計画から見る 現状及び課題

- » 佐野市観光協会の調査によると佐野市に訪れる観光客はファミリー層がメイン。若者の旅行者は少ない事が推察される。
- » 若者と自治体や地域との接点が少ない。
- » 体験型施設のインフラ整備が出来ていない

# 政策提言を行う事により期待される効果

## ～第4次観光推進基本計画からの視点～

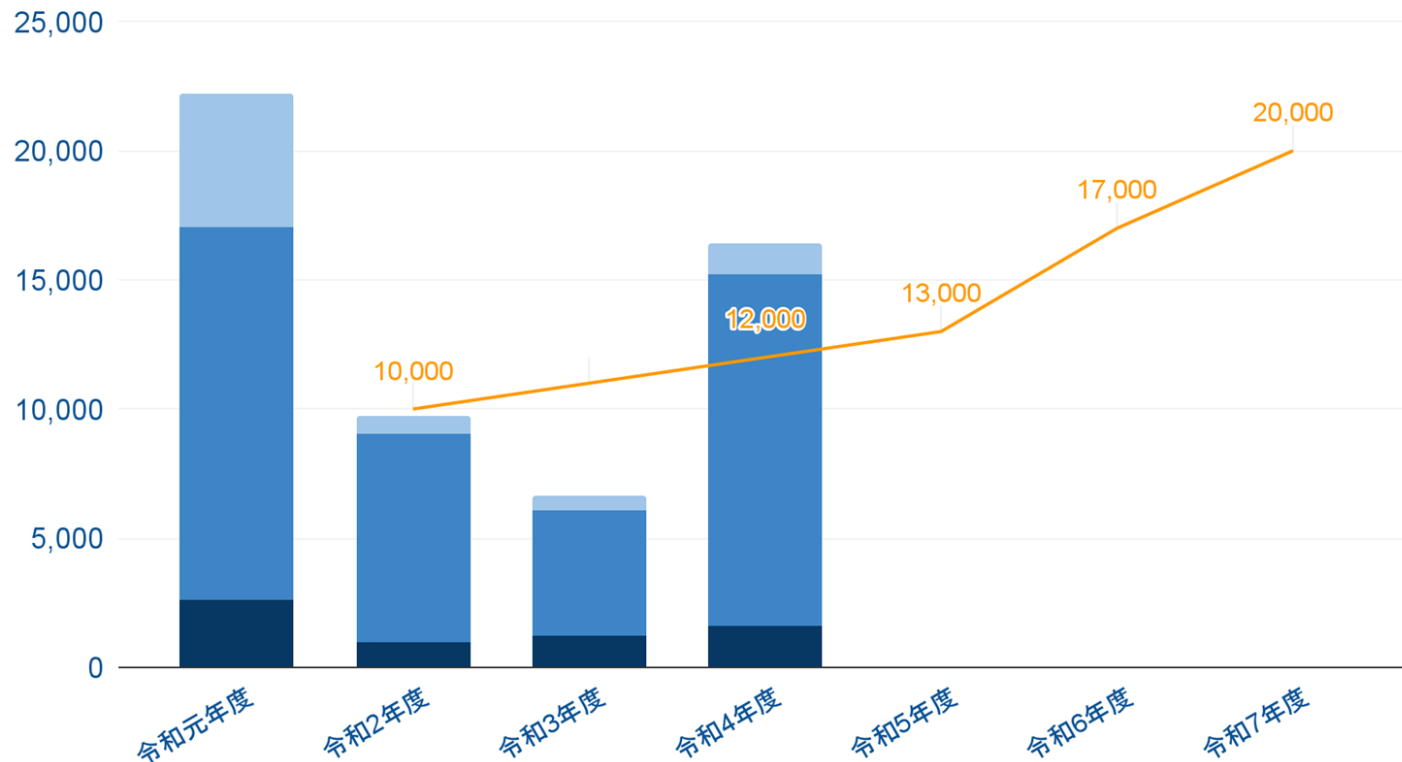


第4次観光推進基本計画  
QRコード

# 佐野市の市有宿泊施設利用の現状

## 宿泊施設利用者数及び成果指標

— 成果指標 — あきやま学寮他 蓬山ログビレッジ 根古屋森林公園



成果指標については第4次  
佐野市推進基本計画から  
引用

施設利用者数については  
事務報告書を基に作成

## 観光振興の課題の一部をSNS活用によって解決する

令和4年度年代別主要SNS系アプリの利用率

| SNS系アプリ<br>世代 (N) | LINE         | Facebook     | Twitter      | Instagram    |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 10代(N=140)        | 93.7%        | 19.0%        | 67.6%        | 69.0%        |
| 20代(N=217)        | <b>98.6%</b> | 27.6%        | <b>78.8%</b> | <b>73.3%</b> |
| 30代(N=245)        | 98.0%        | <b>46.5%</b> | 55.5%        | 63.7%        |
| 40代(N=319)        | 95.0%        | 38.2%        | 44.5%        | 48.6%        |
| 50代(N=307)        | 93.8%        | 26.7%        | 31.6%        | 40.7%        |
| 60代(N=272)        | 86.0%        | 20.2%        | 21.0%        | 21.3%        |

※引用元 総務省 令和4年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査

若年層は左の表の通り、SNS系アプリの利用率が高く、拡散率も高い事が分かります。基本計画として課題となっている多様な情報発信に期待が持てます。

また重点取組とされるリレー型情報発信には若年層のインフルエンサーを活用することで発信力や拡散力の強化に繋がります。

## 若者向けの観光政策を推進するために

### ① ミレニアル世代に響くコト消費

「モノ消費」から、体験を共有する「コト消費」や人々とのかかわる「トキ消費」のサービスが注目され、特にミレニアル世代と言われる20～40歳にニーズがあると言われている。



### ② 大学生向けの体験型プログラム

プランの中では、農業振興の連携などもあることから、長期休みのある大学生をターゲットにすることで就農体験や体験型宿泊施設の利用が見込まれる。



## その他推進することによる付加価値的効果



## これまでに行ったヒアリング調査

### ① 観光推進課・佐野市観光協会



### ② サイクルタウンさの推進委員会



## 現地視察（市有宿泊施設）

### 1. 根古谷森林公園



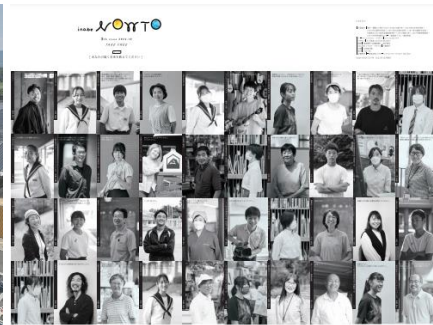
### 2. 蓬山ログビレッジ



### 3. あきやま学寮



## 委員会視察（三重県いなべ市）



1. 2023年10月に経済文教委員会で三重県いなべ市の取組を視察。
2. 住民や民間企業と一緒に、地域や社会の活力を生み出し、様々な地域課題の解決を目指すために、行政組織から独立した法人組織について説明を受ける。
3. 特にいなべ市を舞台に活躍する「人」を増やすためにその舞台を作る事を重視した取り組みを行っている点が印象に残った。

# パネルディスカッション

## ムスリムインバウンド 地域おこし協力隊



すなこま      ひとみ

砂子間      仁実

出身地：福岡県北九州市

インバウンド担当の地域おこし協力隊スナコマです！海外から訪れるお客様に佐野市を楽しんでもらうための仕組みづくりや、PR活動等を行っています。また佐野市は、クリケット場があるため、南アジアからのお客様も多く、ムスリム（イスラム教徒）に優しいまちを目指しています。インバウンド客の受け入れ環境を整え、佐野市を盛り上げていきます。よろしくお願いします。

＜担当部署＞産業文化スポーツ部観光推進課

## 地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。



facebook



@SANOTIPS

Instagram

デジタル marketer  
CMO 株式会社代表取締役



えんどう ゆうま

遠藤 結万

出身地：京都府京都市

GoogleJapan入社。東京オフィスにて、中小企業向け広告コンサルティングとアジア太平洋地域の分析を担当。在籍時にはAPAC Innovation Gold Awardを受賞。退社後にマーケティングを事業領域とするsparcc株式会社（現CMO株式会社）を設立。主に上場企業をクライアントに、マーケティングコンサルティング、戦略設計、社内研修、サービス開発などを手掛ける。著書に「世界基準で学べる エssenシャルデジタルマーケティング」など。

講演実績：NTTドコモ、日本経済新聞社、マネックス証券等

## テーマ 1

# 若者向けSNSについて

## テーマ2

# 若者向け観光について

議会報告会への参加ありがとうございました



ご意見・ご感想は、こちらのフォームからお寄せください